

環境経営レポート



集光型太陽光発電システム 坂口工場太陽光発電パネル

期間：2023年6月～2024年5月

《第16版》

作成日：2024年10月30日

Dik

第一化成株式会社



認証番号0004863

1. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

第一化成株式会社
代表取締役社長 東 寛

2. 所在地

〒421-0412
坂部工場 静岡県牧之原市坂部854番地1
〒421-0411
坂口工場 静岡県牧之原市坂口2020番地
〒421-0411
本社・物流センター 静岡県牧之原市坂口2400番地

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 寺地 敏彦
E A 2 1 事務局担当者 経営企画部 松浦 翔
連絡先 TEL: (0548) 29-0119
FAX: (0548) 29-0848
E-mail: matsura-s@dik.jp

4. 事業の内容

プラスチック成形品（自動車用照明部品等）の製造

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	3,426	3,787	3,971
従業員	人	313	313	321
床面積	m ²	19,487	19,370	19,370

事業年度は、6月～5月で、2023年度は、2023年6月～2024年5月を示します。

6. 敷地概要

◎都市計画法での用途地域指定

本社工場 都市計画地域内
坂口工場&物流センター 都市計画地域内

◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定

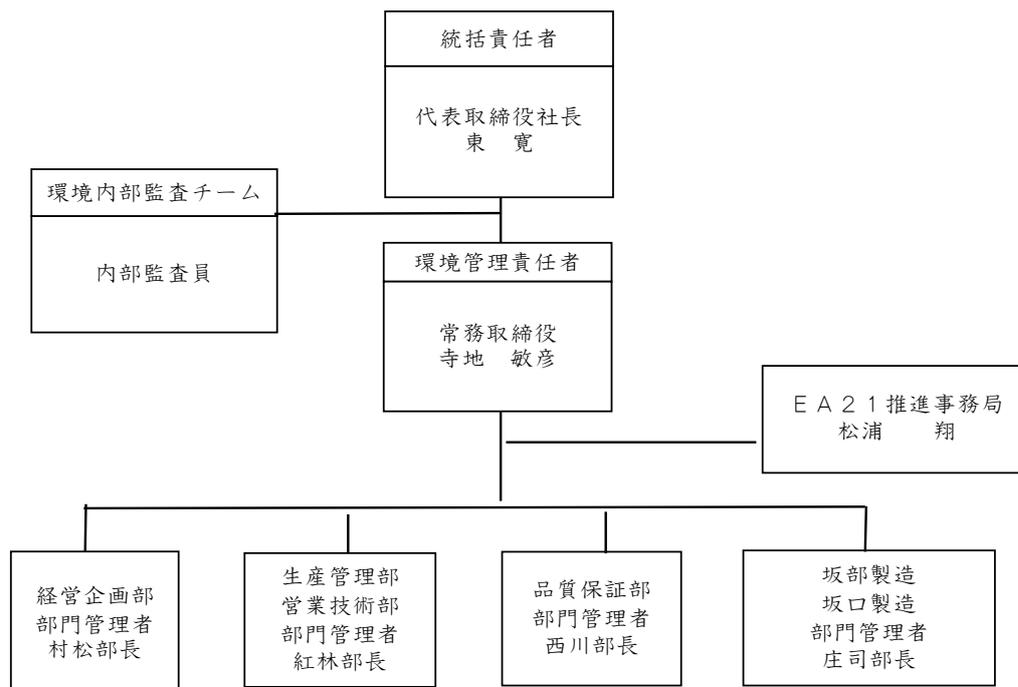
坂部工場
・騒音 : 騒音規制 第二種区域
・振動 : 振動規制 第一種区域(2)
坂口工場&本社・物流センター
・騒音 : 騒音規制 第二種区域
・振動 : 振動規制 第一種区域(2)



7. 実施体制の構築

2023年6月1日

- ☆ 環境経営システムの構築、運用、そして有効性を継続的に改善する中で以下の実施体制を構築する。



- ☆ 実施体制における各自の役割・責任及び権限を以下の通り定める

- ◎ 社長及び役員（経営層）
 - ・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの制定
 - ・環境経営方針を定める
 - ・環境管理責任者の任命
 - ・重点課題としての行動方針を定める
 - ・環境経営目標の決定、見直し
 - ・システム全体の評価と見直し・指示
 - ・環境経営計画の承認
 - ・環境経営活動に対するインフラ（人材・技術・資金）の整備の推進と統括
 - ・内部、外部コミュニケーションの推進と統括
- ◎ 環境管理責任者
 - ・環境経営目標、環境経営画の立案
 - ・環境経営計画の推進状況の把握と社長への報告
 - ・該当環境関連法規等の把握と管理
 - ・環境教育・訓練の実施
 - ・問題点発生に対する是正及び予防処置の対応指導
- ◎ 部門管理者
 - ・環境経営計画の推進
 - ・該当環境関連法規等の遵守と状況把握
 - ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ◎ 環境内部監査チーム
 - ・環境内部監査の実施及び監査結果の報告
 - ・監査結果に対する処置のフォロー
- ◎ E A 2 1 推進事務局
 - ・更新審査、中間審査など更新申請等に関わる事務手続き
 - ・環境経営レポート作成、データの収集と分析
 - ・環境教育訓練計画の企画
 - ・教育資料の作成、配布、掲示
 - ・活動の啓発、活動内容、取組結果の周知、公表など
- ◎ 従業員
 - ・電気の消灯・節水・産廃の削減・ムダの削減等でエコ活動に努める
 - ・不良低減等に対し、改善活動に努める

2. 環境経営方針

《 基本方針 》

我が、第一化成株式会社は、樹脂成形加工の生産活動を通じて、自然環境の保全に貢献して行くとともに、顧客及び地域住民に対して、安心してもらえる企業を目指して継続的な環境保全と向上を、常に努めます。

《 行動指針 》

1. 事業活動で発生する環境破壊となるCO₂排出量の削減、産業廃棄物の削減、上水道の節水に会社全体で取り組みます。
2. 事業活動にあたって環境に関連する法規、条例及びその他の要求事項を遵守し、安全な環境のもとで生産活動をします。
3. 生産活動において、工程内不良削減、ムダの排除、生産効率の向上に努めます。
4. 環境教育を通じ社員の意識を高め、環境保護活動を推進します。
5. 環境保全についての、情報を社内外に対して発信し、コミュニケーションを重視した環境作りを行います。

2009年7月1日 制定

2010年6月1日 改定

2019年6月1日 改定

第一化成株式会社

代表取締役社長

東

寛

東

3. 環境経営目標

中期の重点目標としても電気エネルギーの低減と廃棄物総排出量の低減が大きな課題となる。

・2023年度、2024年度、2025年度環境負荷低減目標値を下記に示す。

弊社の事業年度は、6月～5月で、2022年度は、2022年6月～2023年5月を示す。

環境項目目標	環境中期目標値				
	2022年(37期)	単位	2023年対前年比 (38期)	2024年対前年比 (39期)	2025年対前年比 (40期)
(1)二酸化炭素排出量の削減	1.41	kg-CO ₂ /千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
電力使用量の削減	2.910	kWh/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
LPG使用量の削減	0.019	kg/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
ガソリン使用量の削減	0.0046	kℓ/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
軽油使用量の削減	0.0029	kℓ/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
(2)廃棄物排出量の削減					
廃プラスチックの削減	0.054	kg/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
(3)上水道使用量の削減					
上水道使用量の削減	0.002	m ³ /千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
(4)自らが生産・提供する製品に関する環境配慮					
工程内不良の削減	工程内不良(二次検査含む)前年対比1/2化各課実施計画に沿って実施				
QCサークル活動の推進	各グループ 2件/年を目標に実施				
ミニ改善活動の推進	全社員『1件/月』の提案を目標に活動				

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の2022年発表の調整後排出係数0.459kg-CO₂/kWhとする。

取組項目	管理項目	推進担当部門 推進責任者	計画と実績 (上段:計画、下段:実績、--->:計画、->:実績)												年度合計	備考欄
			2022年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月	4月	5月		
1. CO ₂ 排出量原単位の低減	前年度CO ₂ 原単位1%低減 2022年度CO ₂ 原単位 1.41	全社	△0.25%	△0.25%	△0.25%	△0.50%	△0.50%	△0.50%	△0.75%	△0.75%	△0.75%	△1.00%	△1.00%	△1.00%	△1.00%	
1.1 事務所の日常省エネ活動推進 (対象部門:営業技術部,品証部, 生産管理部,経営企画部)	環境点検表 実施率100%	事務局	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
1.2 製造部の生産省エネ活動推進 (対象部門:坂部,坂口製造部)	環境点検表 実施率100%	坂部製造部 坂口製造部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
1.3 物流の日常省エネ活動推進 (対象部門:生産管理部)	環境点検表 実施率100%	経営企画部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
1.4 電力削減活動																
1.5 太陽光発電の維持・継続	前年比発電量 105% (2022年度 1,219Mwh)	全社	108Mwh	108Mwh	108Mwh	108Mwh	108Mwh	108Mwh	108Mwh	108Mwh	109Mwh	109Mwh	109Mwh	109Mwh	1300Mwh以上	
2 廃棄物排出量の抑制	前年度廃棄物原単位1%低減 2022年度廃棄物 0.053kg/千円	製造部	△0.25%	△0.25%	△0.25%	△0.50%	△0.50%	△0.50%	△0.75%	△0.75%	△0.75%	△1.00%	△1.00%	△1.00%	△1.00%	
2.1 3Rの推進																
①不良低減活動の推進による不良品 排出量の低減(レデュース)	不良率低減率100%(前期50%,後期 50%) 2022年度不良率 7.67%	品質保証部	4.36%	4.36%	4.36%	4.36%	4.36%	4.36%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100.00%	
②チャック板作成 (リユース)	チャック板作成件数1件/月	製造部 生産管理部	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	12件	
③工場内リタールの推進 (リサイクル)	粉砕量5%アップ 2022年度粉砕量 208,099kg	製造部 生産管理部	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,208kg	18,216kg	218,504kg	
2.2 有価物への切替推進 ①樹脂ダンゴ分別	樹脂ダンゴ分別	製造部 生産管理部	樹脂ダンゴ分別の教育・指導													
②重量管理の強化	重量管理の強化	製造部 生産管理部	重量管理の教育・指導													
3 環境配慮活動の推進																
3.1 工程内不良削減による 新入社員教育の実施	新入社員教育の実施	事務局	-													
3.2 QC活動の推進(全社対象)	QC大会年2回実施(11月・4月)	営業技術部 生産管理部	-													
3.3 ミニ改善活動の推進	月1件	全社	-													
4 地域貢献活動	草刈りの実施	年2回	-													
評価	事務局確認	松浦C													(総合コメント:年度末)	
	環境管理責任者確認	古屋専務														

5-1. 環境経営目標の実績

環境への負荷		単位	2021年	2022年	2023年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※1	Kg-CO ₂	5,226,998	5,347,710	5,383,520
	原単位	Kg-CO ₂ /千円	1.504	1.412	1.356
	()	kg-CO ₂			
② 廃棄物排出量	一般廃棄物	段ボール	0	0	0
		古紙(模造・新聞)	0.0	0.0	0.0
		その他の紙	0.0	0.0	0.0
	産業廃棄物	廃プラ(混廃) (グリーンオオシバ)	10.1	13.1	12.7
		廃プラ(可燃物) (レックス)	65.3	70.6	47.1
		廃プラ(メッキ含) (中部カレット)	67.9	83.6	65.4
		廃プラ(箱) 環境のミカタ	23.6	38.2	20.9
		その他	0	0	
③-1 総排水量	公共用水域	m ³	6,878	6,673	6,673
	下水道	m ³			
③-2 水使用量	上水	m ³	6,878	6,673	6,673
	工業用水	m ³	0	0	
	地下水	m ³	0	0	
④ 化学物質使用量		kg	0.0	0.0	
		kg			
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	106,191,947	119,349,557	120,381,970
	化石燃料	MJ	4,402,834	4,754,236	4,627,591
	新エネルギー	MJ	0	0	
	その他	MJ	0	0	
⑥ 物質使用量	資源使用量	t	6,190.3	6,690.1	7,071.5
	循環資源使用量	t	431.5	410.8	382.0
⑦ サイト内で循環的利用を 行っている物質等	利用された物質等	t			
	水の利用量	m ³			
⑧ 総製品生産量または 総商品販売量※2	製品生産量等	t	4,603.9	5,169.2	5,387.0
	環境負荷低減に資する製品等	t			
⑨ 太陽光発電量	坂部工場(10kw・250kw 自社消費)	kwh	294,231	250,769	265,410
	坂口工場(350kw 自社消費)	kwh	452,737	433,911	439,867
	物流センター(200kw 売電)	kwh	489,751	534,911	536,507

※1二酸化炭素排出係数は、各年度とも2022年に中部電力発表の電力係数0.459kg-CO₂/kWhで算出し、統一しています。(調整後排出係数を使用)

※2総製品生産量または総商品販売量について、「製品」は、工場等で製造された品物を意味し、「商品」は、売買の目的物としての品物を意味します。したがって「商品」には、「製品」や「サービス」等も含まれます。

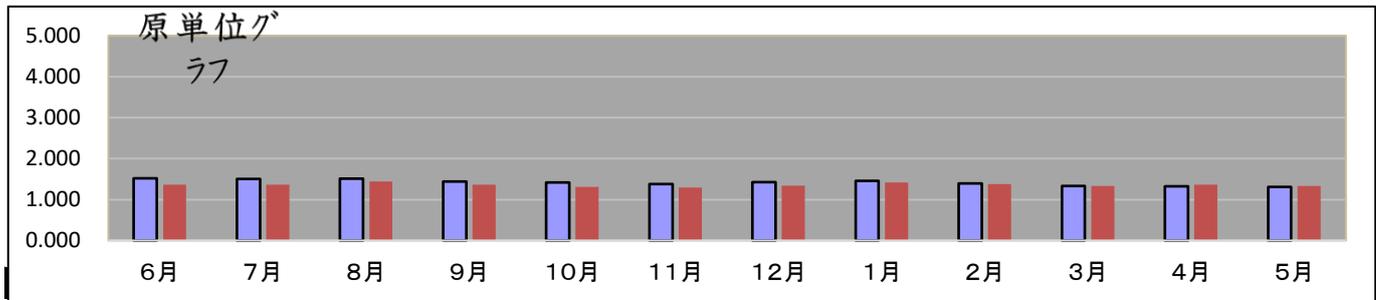
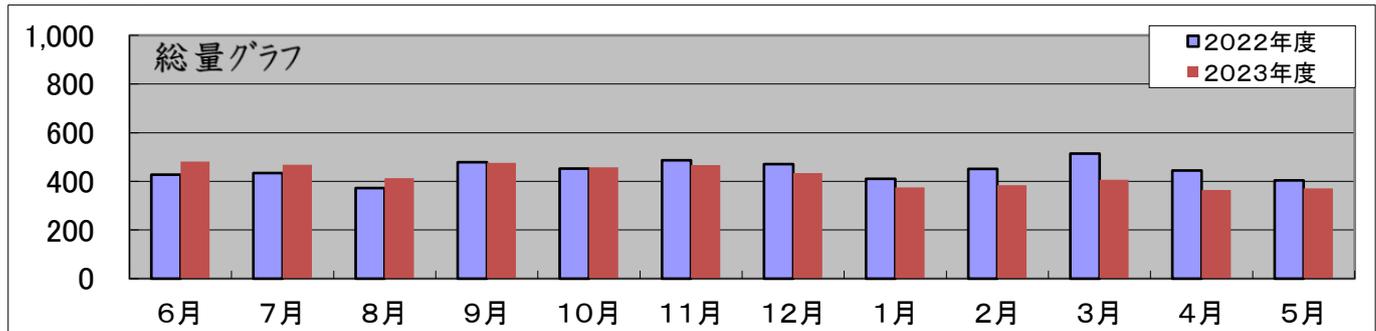
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容①

取組項目	2023年度目標 前年度削減率	総量 前年比実績	原単位 増減率
二酸化炭素排出量の削減	0.5%削減	-4.7%	-4.0%
1. 電気使用量の削減	0.5%削減	0.9%	0.7%
2. LPG使用量の削減	0.5%削減	-2.8%	-2.9%
3. ガソリン使用量の削減	0.5%削減	-6.3%	-6.4%
4. 軽油使用量の削減	0.5%削減	2.2%	2.1%

二酸化炭素排出量の前年同月との比較

年度	項目	単位	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計	前年比
2022年度	二酸化炭素排出量	Ton-CO ₂	428	434	373	479	452	487	471	410	451	515	444	404	5,347.0	
2022年度	原単位	Ton-CO ₂ /t	1.522	1.501	1.513	1.439	1.418	1.378	1.428	1.458	1.393	1.331	1.327	1.308	1,412	
2023年度	二酸化炭素排出量	Ton-CO ₂	481	468	413	476	458	467	434	375	384	406	364	371	5,097.0	95.3%
2023年度	原単位	Ton-CO ₂ /t	1.364	1.365	1.439	1.360	1.310	1.296	1.338	1.417	1.382	1.330	1.366	1.331	1,356	96.0%

※二酸化炭素原単位は、Ton-co2/千円にて算出。



2023年度の取組と結果

<p>《取組みの実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> 成形機及び、付帯設備の立ち上げ時のタイマー設定を行い、電力消費量の削減を行った。 太陽光発電の維持・継続(別紙①を参照) 工場内のムダな電気の消灯の呼びかけ
<p>《結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電の維持・管理が出来、CO₂削減に貢献できた。 トラックでの運搬(製品・箱・金型など)が増加した為、軽油が増加した。 生産の増加により、電気使用量及び原単位が増加してしまった。

<p>評価</p> <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 無駄な生産を無くし、電力削減に努める。 社員への呼びかけを続けて更に意識を高めるように取り組む。 	<p>検印</p>
--	-----------

2024年度の取組内容

<ul style="list-style-type: none"> 社員への呼びかけを続け、意識を高める。 太陽光パネルの維持管理を引き続き行う。 成形機の油圧から電動への更新を都度行う。
--

別紙①(過去のエコ活動)

(1)川勝県知事来社

2012年7月12日に川勝県知事が、弊社坂部工場駐車場に設置してある集光型太陽光発電装置を見学する為に来社されました。

2016年1月に物流センターを設立し、太陽光パネルを設置いたしました。

川勝知事と握手を交わす今村社長



別紙②(過去のエコ活動)

2021年8月度の地域経済誌「COALAnet」にて、第一化成株式会社 坂口工場が掲載され、東社長へのインタビュー記事や太陽光発電の活用などが掲載されました。



太陽光発電の自家消費 電力削減+αの価値

太陽光発電設備を導入して発電した電力を自家消費する企業が増えている。目的は電力代の削減だが、他にもメリットがあるようだ。静岡県の自動車部品メーカーと山形県の印刷会社の事例を挙げる。

静 調光機・原市の目撃者。第一化成は2020年8月、本社に隣接する坂口工場で太陽光発電設備を稼働させた。太陽光パネルの出力は4.36MW、発電した電力を工場内で消費、電力代の削減を図る。



第一化成の東社長

設置し、発電した電力を消費することで外部から購入する電力を減らそうとした。以降の9月と10月は、発電した電力を完全に消費することはできないが、工業者の試算では年間発電量の90%に相当する約3.6万kWhを消費できるとしている。電力代の削減額は年間700万円と全体の5%程度だが、太陽光パネルが直射を遮り、空調設備の節電効果

も得られるという。同社の東社長は、「太陽光発電の稼働は、各月も前年同期比で60万円増電力が下がった」とし、「中小企業経営者連合会を活用して設備一括買付した。投資回収期間は6年の見込みだ」と話す。

環境配慮と利益追求
今回の取り組みについて、東社長は、「取引のある静岡銀行から勧めを受けた」とし、「発電した電力を自家消費し、浮いた電力代



Company Profile	
社名	第一化成
本社所在地	静岡県静岡市東区口2400
設立	1986年
資本金	2000万円
売上高	87億円(2020年5月期)
従業員数	225人
取引銀行	静岡銀行、農工商中央金庫、みずほ銀行、カネ銀行
	http://d1k.jp

第一化成が坂口工場の屋敷上に設置した太陽光パネル
その一方で、太陽光発電設備の導入に際してはSDG8「持続可能な開発目標」に取り組みもあつたようだ。事実、取引先の小糸製作所が環境配慮を掲げていたこともあり、第一化成は2010年に環境省が策定した「エコアクション21」の認証を取得。二酸化炭素の排出や廃プラスチック量の削減に加え、節水などを進め、毎年の評価を元に改善してきた。東社長は、「不具合による廃プラなどの数を減らすことは、環境対策と同時に自社の利益の向上にもつながる。その点で太陽光発電設備の導入は正解だった」と語る。

OPINION

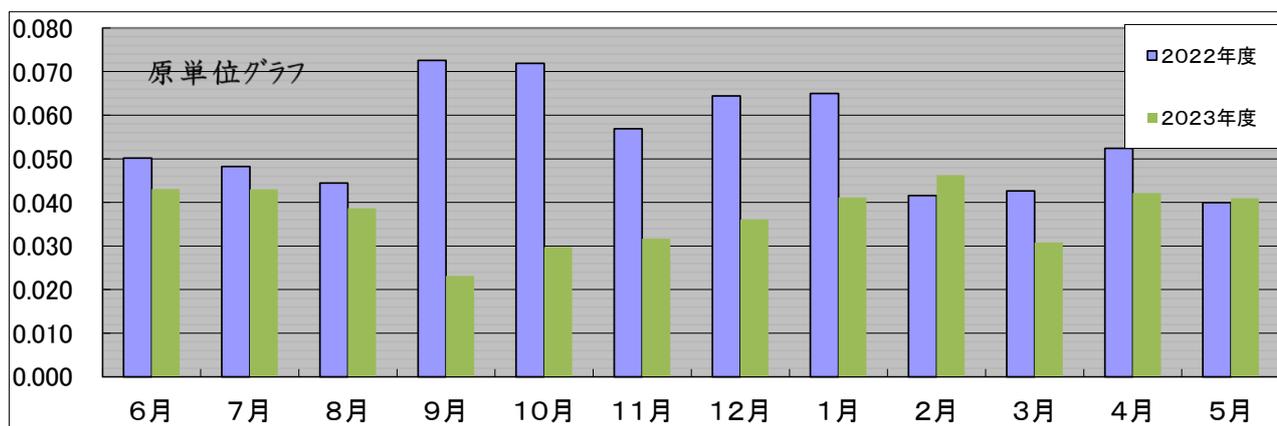
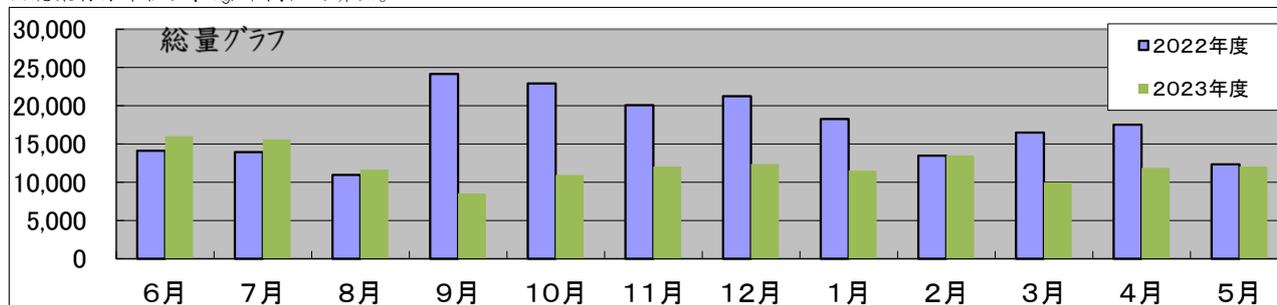
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容②

取組項目	2023年度目標	前年比実績	原単位増減率
廃棄物排出量の削減	0.5%削減	-28.9%	-28.9%

廃棄物排出量の前年同月との比較

年度	項目	単位	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計	前年比
2022年度	廃棄物排出量	kg	14,113	13,946	10,944	24,150	22,906	20,094	21,244	18,283	13,471	16,489	17,540	12,345	205,525	
2022年度	原単位	kg/千円	0.050	0.048	0.044	0.073	0.072	0.057	0.064	0.065	0.042	0.043	0.052	0.040	0.0543	
2023年度	廃棄物排出量	kg	16,038	15,602	11,663	8,559	10,976	12,062	12,382	11,520	13,515	9,963	11,886	12,050	146,216	71.1%
2023年度	原単位	kg/千円	0.043	0.043	0.039	0.023	0.030	0.032	0.036	0.041	0.046	0.031	0.042	0.041	0.0386	71.1%

※廃棄物原単位は、kg/千円にて算出。



2023年度の取組と結果

《取組みの実績》

- ・廃棄物の分別の呼びかけを行い、廃棄物削減を行った。
- ・材料のこぼれ、材料間違いを無くすよう呼びかけを実施
- ・再生材の使用・検討の実施

《結果》

- ・昨年度は、台風15号の影響により坂部工場内が冠水し、箱や紙類の廃棄物が多く出てしまったが、今年度は突発な廃棄は出なかった。

評価	検印
○ ・前年は台風の影響もあり、廃棄物が多く増加してしまったが、今年度は通常通り抑えることが出来た。 ・再生材の使用・検討の実施を引きつづき行う。	寺地

2024年度の取組内容

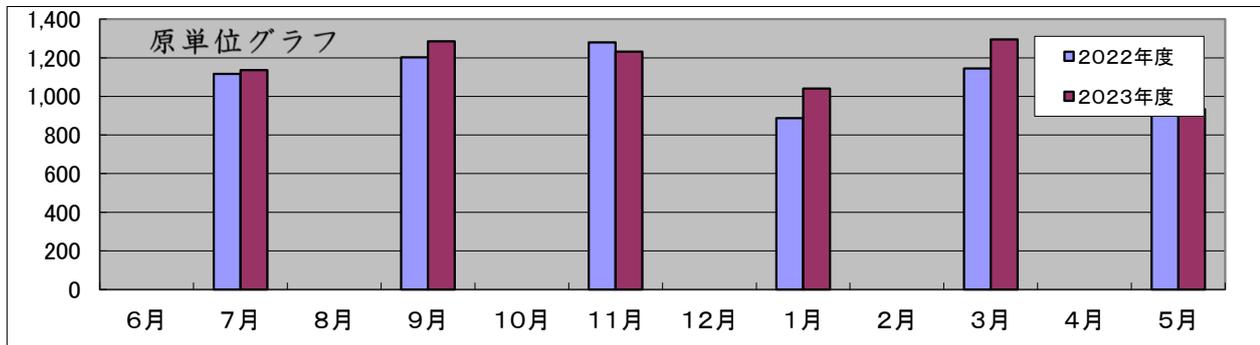
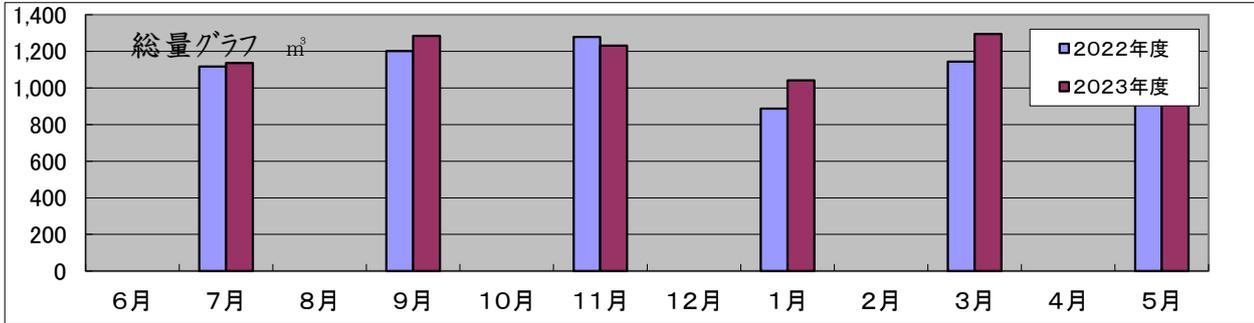
2023年度の取組内容を引き続き継続

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容③

取組項目	2023年度目標	前年比実績	原単位増減率
上水道使用量の削減	0.5%削減	3.7%	-1.1%

上水道使用量の前年同月との比較

年度	項目	単位	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計	前年比
2022年度	上水道使用量	m ³	/	1,117	/	1,202	/	1,279	/	887	/	1,144	/	1,044	6,673	/
	原単位	m ³ /千円	/	0.002	/	0.002	/	0.002	/	0.002	/	0.002	/	0.001	0.002	/
2023年度	上水道使用量	m ³	/	1,136	/	1,285	/	1,231	/	1,041	/	1,295	/	933	6,921	103.7%
	原単位	m ³ /千円	/	0.002	/	0.002	/	0.002	/	0.002	/	0.002	/	0.002	0.002	98.9%



2023年度の取組結果

《取組みの実績》
・ 節水の呼びかけを行う
《結果》
・ 全体的に削減でき、水漏れ等も無く、節水をすることが出来た。 ・ 総量では増えてしまったが、原単位では削減することが出来た。

評価	・ この結果を維持できるよう努めてください。	検印
○		寺地

2024年度の取組内容

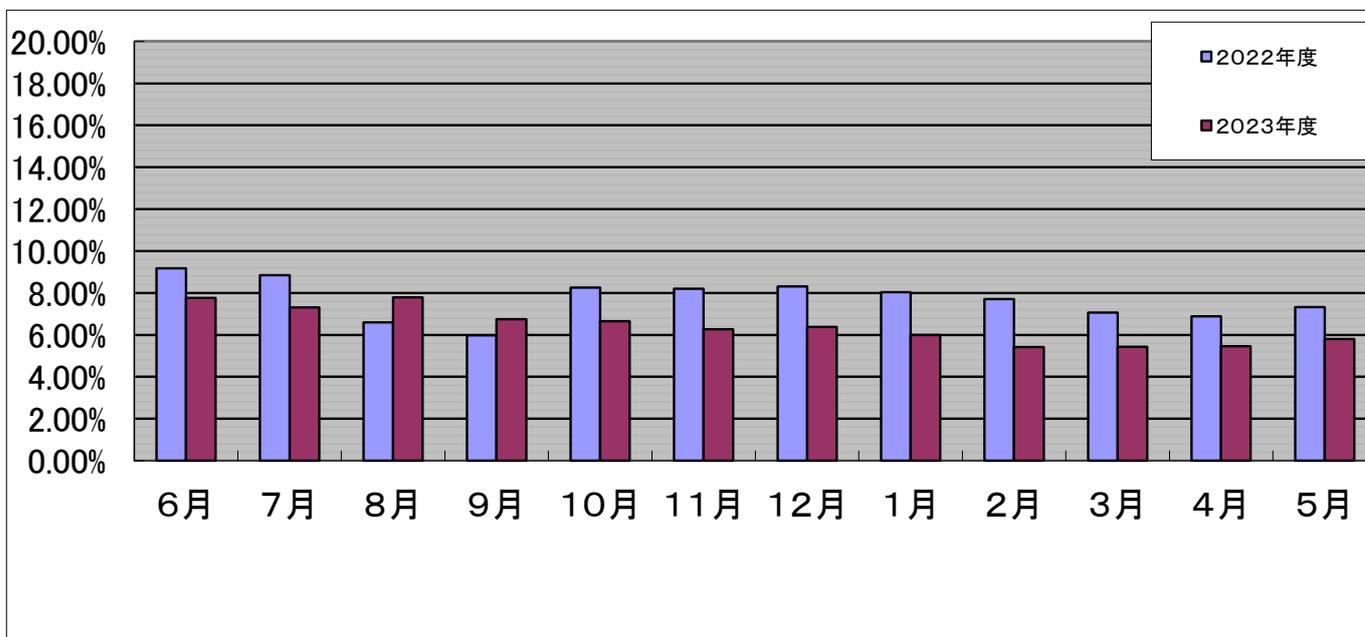
・ 昨年度の取組を継続する。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容④

取組項目	2023年度目標	前年比実績
1. 工程内不良の低減	前年比10%削減	-1.21%

工程内不良率の前年同月との比較

年度	項目	単位	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年度	工程内不良の低減	%	9.18%	8.85%	6.60%	5.98%	8.25%	8.20%	8.31%	8.03%	7.70%	7.06%	6.89%	7.33%	7.67%
2023年度	工程内不良の低減	%	7.77%	7.31%	7.79%	6.75%	6.65%	6.27%	6.38%	6.00%	5.41%	5.43%	5.46%	5.80%	6.46%
工程内不良の低減(前年比)		%	-1.42%	-1.54%	1.19%	0.77%	-1.60%	-1.94%	-1.93%	-2.03%	-2.29%	-1.63%	-1.43%	-1.52%	-1.21%



2023年度の取組と結果

《取組みの実績》	
1 工程内不良の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・充填圧力異常等のチョコ停を解消し、打ち出し不良低減を行った。 ・限度を把握した合否判定で工程内不良の低減を行った。 ・新規立上げ製品の安定生産、工程内不良の潰しこみ ・各課ワースト製品をピックアップし、不良低減活動を行った。
2 QCサークル活動の推進	目標 各グループ 2件/年 実績 未実施
3 ミニ改善活動の推進	目標 全社員『1件/月』 実績 18件
《結果》	
前年度と比較し、1.2%も不良低減ができた。 各課にて不良低減活動を行った結果が出てきた。	

評価	検印
○ <ul style="list-style-type: none"> ・会社全体で不良低減活動を進めた結果、前年と比べ1.2%も削減できた。 ・新規製品立ち上げの際には、量産までに問題点の解決が出来るよう努めること。 	

2024年度の取組内容

2023年度の取組を引き続き継続。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容⑥

2023年度活動計画

取組項目	2023年度活動内容
1、環境関連法規の確認	・法規及び関係官庁への届出の確認
	・産業廃棄物の委任先の現地確認(12月予定)
2、従業員の環境教育・訓練の実施	・節電に関する、環境教育訓練の実施
	・ストレスチェックの実施
	・防災訓練を実施する。
3、地域の環境活動	・当社に隣接する、河川堤の草刈り作業の実施

2023年度活動実績

活動内容	活動実績
1、法規の届出の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出・・・中部健康福祉センター ・省エネ法 エネルギー使用状況届出・・・関東経済産業局 ・省エネ法 エネルギー管理統括者届出・・・関東経済産業局 ・省エネ法 エネルギー管理企画推進者届出・・・関東経済産業局 ・省エネ法 中長期計画書提出（7月29日）・・・関東経済産業局 ・省エネ法 定期報告報告書提出（7月29日）・・・関東経済産業局 ・省エネ法 定期報告報告書提出（7月29日）・・・関東経済産業局 ・産業廃棄物の委任先の現地確認(12月22日)
2、従業員の環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP管理(安否情報システム「安否コール」) ・各職場にて環境活動を日々チェックする。(環境点検表) ・防災訓練の実施(2024年5月28日実施)
3、地域の環境活動	<ul style="list-style-type: none"> ・坂部工場草刈実施(8月・10月) ・坂口工場草刈実施(8月・10月)

2023年度の取組結果

<p>《結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月実施の防災訓練では、坂口(第2工場)の避難経路見直しの点検を行い、対策・検討を行った。
--

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に対し活動は実行されている。 ・防災訓練での点検で打ちあがったことに対し、対策を行うこと。 	検印
○		

2024年度の取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度の取組を引き続き継続

7-1. 環境経営目標(次年度以降の中長期目標)

13 / 16

中期の重点目標としても電気エネルギーの低減と廃棄物総排出量の低減が大きな課題となる。

・2023年度、2024年度、2025年度環境負荷低減目標値を下記に示す。

弊社の事業年度は、6月～5月で、2023年度は、2023年6月～2024年5月を示す。

環境項目目標	基準年度		環境中期目標値		
	2023年対前年比 (38期)	単位	2024年対前年比 (39期)	2025年対前年比 (40期)	2026年対前年比 (41期)
(1)二酸化炭素排出量の削減	1.36	kg-CO ₂ /千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
電力使用量の削減	2.930	kWh/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
LPG使用量の削減	0.019	kg/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
ガソリン使用量の削減	0.0043	kℓ/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
軽油使用量の削減	0.0029	kℓ/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
(2)廃棄物排出量の削減					
廃プラスチックの削減	0.039	kg/千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
(3)上水道使用量の削減					
上水道使用量の削減	0.002	m ³ /千円	-0.5%	-0.5%	-0.5%
(4)自らが生産・提供する製品に関する環境配慮					
工程内不良の削減	工程内不良(二次検査含む)前年対比1/2化各課実施計画に沿って実施				
ミニ改善活動の推進	全社員『1件/年』の提案を目標に活動				
QCサークル活動の推進	年2回QC大会を目標に実施				

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の2022年発表の調整後排出係数0.459kg-CO₂/kWhとする。

8.環境関連法規への違反、起訴等の有無

15 / 16

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
(確認日 2024年11月10日 確認者 環境管理責任者)

法規の名称	適用内容	備考 (規制基準値、その他)	遵守状況
廃棄物処理法	・保管施設の表示と保管基準の遵守	・表示板掲示 (60cm以上)	○
	・収集運搬業者及び処分業者の委託契約	・契約書	○
	・委託契約許可書の管理	・有効期間 5年間 (有効期限の確認)	○
	・マニフェスト管理	・マニフェスト控えのA・B2・D・E票の保管	○
	・マニフェストの交付状況報告	・4月1日～6月30日までに前年度分報告	○: 5月17日報告済み
騒音規制法 静岡県生活環境保全条例	・特定施設からの騒音に関する規制基準の遵守及び施設の届出	特定施設 空気圧縮機 (7.5kw以上) 合成樹脂用射出成形機	○ H27.7.10 提出済み
振動規制法 静岡県生活環境保全条例	・特定施設からの振動に関する規制基準の遵守及び施設の届出	特定施設 空気圧縮機 (7.5kw以上) 合成樹脂用射出成形機	○ H27.7.10 提出済み
労働安全衛生法	・特定作業従事者の健康管理 ・設備メンテナンス時の安全対策 ・SDSの管理	安全衛生管理者 増田ふみ代 ・作業標準書にて現場への掲示 (該当作業なし)	○
消防法	・指定可燃物の貯蔵取扱の届出	・指定可燃物、廃プラ類 (3以上)	○
浄化槽法	・保守点検及び清掃	・保守点検 1回/3ヶ月保守点検 ・清掃 (実施記録 3年間保管) ・法定点検(年1回実施)	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・産業廃棄物管理責任者の選任 ・産業廃棄物の委任先の実地確認と、その記録の保存	・責任者名 松浦 翔 ・年1回以上実地の確認	中部カレット 12月22日 訪問: ○ 別紙参照
改正省エネルギー法	・第二種エネルギー管理指定工場 (エネルギー使用状況届提出)	・エネルギー管理員 増田 太一 ・エネルギー管理員 松浦 翔	中長期計画書 定期報告書: ○ R6.7.29提出済み
フロン排出抑制法	・フロン使用機器の点検と実施	対象機器全点 ・自身での簡易点検の実施(3カ月ごと) 第一種特定機器の定期点検 ・空調機(50kw以上)年1回以上 ・空調機(7.5kw~50kw未満)3年に1回 ・冷凍冷蔵機器(7.5kw以上)年1回以上 (有資格者が実施)	フロン簡易点検 記録簿: ○

2. 訴訟などの有無

関係機関からの指摘、利害関係者、近隣の住民からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

3. 環境関連法規等の見直し

年に1回、見直しを実施します。

9. 代表者による全体の評価及び見直し・指示



活動期間 (2023年6月1日 ~ 2024年 5月31日) 作成 2024年 10月 30日

項 目		確 認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
1、 見直し 関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	: 環境経営マニュアル(2014年6月1日付)の変更は無し
	2 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	: 電力量を削減する為にも無駄な生産を無くし効率よく生産をしていきたい。
	3 環境活動計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	: 問題なし
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	: 問題なし
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	: 近隣の苦情なし
	6 問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	: 特になし
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他 外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	: 特になし
	8 その他 (<input checked="" type="checkbox"/>	: 特になし

全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)			
2、 代表者による 全体評価・ 見直し指示	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境経営目標・計画	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3 環境経営計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	ミニ改善目標の見直しの検討 月1件→年1件
	4 環境に関する組織	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 その他のシステム要素	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	6 その他 (外部への対応)	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	